

平成29年度 「おもしろ科学実験」

- 1 日 時 平成29年12月6日（水）午前9時30分から午後2時30分まで
- 2 会 場 富山県総合教育センター（富山市高田525）
- 3 参加者 31人
＜内訳＞ 児童生徒 14人（小学生10人、中学生4人）
保護者 9人
大学生ボランティア 8人（富山大学）
- 4 活動内容
午前 はじめの会・出会いのゲーム



参加者全員で、「脚開きジャンケン」をしました。相手を探してジャンケンをし、負けたら脚を開き、勝ったら脚を閉じるというゲームです。最初は、緊張気味だった子供たちですが、動いたり笑ったりしているうちに、会場が和やかな雰囲気になりました。

実験1、2 （四つの実験から二つを選択）

＜葉脈標本を作ろう＞



＜戻り車を作ろう＞



＜蜃気楼を作ろう＞



＜蒸気船を作ろう＞



実験1、2では、四つの実験から二つを選択して行いました。身近な素材を使った実験ばかりで親しみやすく、参加者はどの実験にも真剣に取り組みました。

午後 共同実験 <空気遊び>



午後は、参加者全員でペットボトルの空気でっぼうを作りました。ペットボトルの底をはさみで切り、その部分に合わせて切ったゴム風船をつなげます。ペットボトルの口にウレタンの球をつめ、ゴム風船をひっぱって離すと球が飛び出します。子供対大人に分かれて的当てゲームをしました。その結果、子供チームが的を全部当てて勝ちました。その後、大きな空気砲の実験を観察しました。

5 アンケートから

<参加児童生徒>

- 戻り車が行ったり来たりするのがすごいと思いました。
- いろいろな科学実験ができて、とても楽しかったです。
- 人とのふれあいの大切さを知ることができてよかったです。

<参加保護者>

- あまり集団の中に出る機会がないので、よい刺激になったようです。
- 思っていたよりも積極的に実験に参加し、いろいろな人と話をしていました。
- 大学生ボランティアだけでなく、同世代の友達ともたくさん話ができいたので、とてもよかったですと思います。